

## TOPICS

## 要介護者にも優しい移乗機器の開発 —移乗時の息苦しさや痛みを軽減—

デザイン開発室 餘久保優子 (よくぼ ゆうこ)

yokubo@irii.jp

専門：ユニバーサルデザイン、人間工学

一言：デザイン力で豊かな社会を実現しましょう



介護現場において、要介護者をベッドから車椅子、トイレへと移乗させる動作は、介助者の腰痛発生の大きな要因になっています。その対応策として、近年は要介護者を正面から支えて移乗する簡易移乗機器の開発が進みました。一方で、簡易移乗機器は要介護者の胸腹部を圧迫するため、息苦しさや痛みを伴いやすいことが課題でした。

工業試験場では、金沢大学および企業と共同で、図のような要介護者の胸腹部への圧力を軽減する移乗機器の開発を行いました。移乗機器の胸腹部サポートは要介護者の個々の体型に適合できるように、ベルトを任意に伸縮可能な構造としました。さらに、要介護者の息苦しさを解消するために、ベルトの両端に取り付けたゴムの伸

縮を任意に調節できるようにしました。

金沢大学で学生16名を被験者に市販の簡易移乗機器2点と比較評価を行った結果、開発した移乗機器は前側移乗の課題であった胸腹部への圧迫が軽減され、胸腹部等の痛みが少なくなる傾向が示されました。

工業試験場では福祉機器をはじめ、仕事や日常生活において、人にやさしい製品開発を支援していきます。どうぞお気軽にご相談ください。



図 開発した移乗機器